



地下鉄短信 (第630号) 令和7年2月10日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 和嶋武典
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



○「令和6年度地下鉄事業現地見学会」を開催しました。

去る、1月15日(水)に、「令和6年度地下鉄事業現地見学会」(以下、「現地見学会」という。)を普通会員及び賛助会員(16社局)21名を含む26名の参加を得て開催しました。

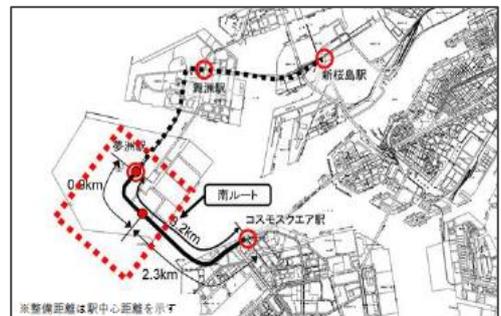
現地見学会は、地下鉄事業者等のご協力の下に、会員各位の啓発の場として、また会員相互の交流の場として、平成11年度から毎年実施してきたものです。前は、2023年(令和5年)12月に、京浜急行電鉄(株)様並びに東日本旅客鉄道(株)様のご協力により、品川駅付近(泉岳寺～新馬場駅間)連続立体交差事業及び高輪ゲートウェイ駅周辺の再開発プロジェクトに係る見学会を開催しました。

今回は、今春の開催が待たれる大阪・関西万博会場の最寄り駅になる大阪メトロ中央線「夢洲駅」について、大阪市高速電気軌道(株)様、大阪港トランスポートシステム(株)様のご協力により、1月19日(日)の延伸、夢洲駅開業直前に、開催しました。夢洲駅は北港テクノポート線の夢洲に設置された駅で、大阪・関西万博を始め、IR地区、物流拠点の人流を担う、新たなまちづくりに欠かせない駅です。

「臨港鉄道整備事業『北港テクノポート線』」について

北港テクノポート線は、大阪臨海部の人工島である咲洲、夢洲、舞洲を経由し、在来の臨海部及び都心部を結び、大阪港港湾計画をはじめ夢洲まちづくり構想等に基づく臨海部の開発に伴う交通需要に対応するために整備する鉄道路線です。特に、臨海部開発の進展により増大する旅客需要に対応するためにも必要不可欠な鉄道路線と位置づけられ、また大阪港の幹線道路網の物流と、人流を分離することで、道路の交通負荷を軽減します。

このほど、咲洲～夢洲間の鉄道建設工事が完成し、夢洲駅が開業されることになりましたが、夢洲においては、「夢洲まちづくり構想」に基づき、国際観光拠点と国際物流拠点の形成を目指しています。大阪の成長戦略(2018年)において、鉄道アクセス・ネットワーク強化の具体的取組のひとつとして「夢洲への地下鉄中央線延伸」が位置づけられ、2025年大阪・関西万博開催時においても、夢洲地区への主要な交通手段として本路線が位置づけられています。



北港テクノポート線計画



大阪・関西万博会場と夢洲駅

大阪市高速電気軌道中央線「夢洲駅」について

(大阪港トランスポートエーション (株) ニュースリリースより)

夢洲駅のデザインについて以下に示します。基本コンセプトは、「移世界劇場 動く (いきる) = 移動の魅力を発信する駅」として、駅で発信していきたい次に3つの思いが込められています。

①動きの魅せるいのちの多様性、②日本の技術と文化で紡ぐ未来、③新しい移動のカタチ挑戦する夢洲
そして、コンセプトを表現する空間デザインとして、

(1) 「折り紙天井」

日本の鉄道の正確さ、高い技術力を示す、世界に誇る“運行ダイヤ図”を、おもてなしのこころをこめて、日本の伝統的な“折り紙”で表現しています。

(2) 「鏡面・ゆらぎ」

鏡面で多様な人々の動きを映し、多様性の美しさを体感できる空間をつくっています。

(3) 「灯り」

未来への玄関口をイメージした門型のライン照明を配置し、通り抜けるたびにワクワク感を演出する照明としています。

(4) 「素材を活かす」

100年つづく駅をめざし、耐久性やメンテナンス、リサイクル性に優れた素材、この場所らしさや歴史を大切にしたい素材を用い、「素材の特性を活かす」手法で取り組んでいます。

(5) 「運営・演出」

万博前、万博中、万博後の3つのフェーズに柔軟に対応します。継続的に駅やまちの魅力を発信・更新し、訪れたいくなる“まちの顔”となることを目指しています。

1) ホーム階



2) コンコース階



3) ラッチ外コンコース階 改札前円形広場



イベント開催時



路線情報



「大阪市高速電気軌道中央線『夢洲駅』見学会」について

今回の夢洲駅見学会では、交通事業本部交通ネットワーク部 中野唯史夢洲建設事務所長に、事業の概要説明の後、構内のご案内・説明をいただきました。





オールジェンダートイレの説明



オールジェンダートイレ



トイレ利用状況のデジタル画面表示



オールジェンダートイレの利用状況表示

コンコース階のトイレは、オールジェンダートイレとして、次のコンセプトで設けられている。男性・女性・車いす対応の多機能トイレのほか、子育て支援のベビーケアルームやおむつ自動販売機のコーナー、オールジェンダートイレは、ベビーシート・ベビーチェア、オストメイト、着替え台が設備された個室が用意されている。

またこれらの利用状況が一目でわかるように、トイレ全体の利用状況、オールジェンダートイレの利用状況、について画面表示されている。



ホームでの説明



ホームに停車中の400系電車



夢洲駅会場側出入口で集合写真

夢洲駅は1月19日(日)に開業を控え、完成された新駅として開業を待っているところでしたが、万博会場は開場まで3カ月を残すのみとなり、工事も佳境に入っている状況でした。

最新の駅が、工事の完成の一助となり、万博に訪れる人の重要な最寄り駅になること、更には、将来夢洲地区発展の拠点となることを祈念して、夢洲駅を後にしました。

今回の見学会では、開業 4 日前の開催にもかかわらず、多大なるご協力と丁寧なご説明を頂いた、大阪市高速電気軌道株式会社の皆様、および事業主体となる大阪港トランスポーターションシステム株式会社には、大変お世話になりました。この紙面を借りまして深く御礼申し上げます。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: wajima@jametro.or.jp